

## 三橋 玄(みつはし げん) プロフィール



[www.bambookingdom.net](http://www.bambookingdom.net)

1972 年、東京生まれ。鳥取大学農学部卒業後、中国シンジャン、チベット、ネパールなどの辺境やインド、タイ、ヨーロッパ、北米… 放浪の旅を経て、作家活動に入る。

写真をスライドプロジェクターで投影するインスタレーション制作から始まり、体感的空間の創造を目指して、従来の「動かない四角い平面」というスクリーンの考え方を覆し、「歪がみ、重なり、動く」独自のスクリーンを制作し、映像と光の空間を作るようになる。こうした実験を重ねつつ、舞台やステージセット、照明や演出などを手掛ける。その後、造形的制作に重点を置くようになり、音楽フェスティバルやコンサートのステージ装飾、アートイベントでのオブジェやモニュメント制作、店舗やオフィスの内外装など幅広く活動している。

2005 年から竹を使った巨大造形の制作を始め、生命力、人と自然の関わりをテーマに「フジロックフェスティバル」(新潟)や「渚音楽祭」(東京)などの大規模な野外音楽フェス、「アースデイ東京」などの屋内外でのイベントでのアート制作を手掛ける。2010 年個展「原初の海」(東京)。

2008 年東京・高尾山で千個のドリームキャッチャーを集めて作った「ドリームキャッチャーバリケード」には 300 人以上が参加した。

2011 年、東日本大地震により東京を離れ、関西に拠点を置く。現在、奈良県桜井市在住。

2012 年 辰年の龍をテーマに年始の大阪南港「ATC」での「飛龍 2012」から全国各地で 13 の龍を制作。

2012 年 5 月「大丸 梅田店」大丸ミュージアム「風水土のしつらい展」のシンボル「生命の樹」。

2012 年 11 月 和歌山市「ホテル アバローム 紀の国」にて「竹の回廊 くぐる」(常設)制作。

2012 年 12 月 京都市「関西日仏学館」(フランス領事館)の庭でクリスマスモニュメント制作。

2013 年 8 月 京都・醍醐寺にて「如意」制作。

2013 年 9 月 奈良県明日香村「飛鳥 光の回廊」にて「朱雀」制作。

2014 年 9 月 奈良県明日香村「飛鳥 光の回廊」にて「あすか」制作。

2014 年 10 月 名張市「SENSART Gallery」にて個展「いのちのかたち 未完のかたち」開催。

2014 年 11 月 奈良・平城宮の「天平祭」にて「竹の四神 玄武・青龍・朱雀・白虎」四体を同時制作。

非営利団体「竹の國」を主宰し、竹林整備と竹材の利用、美しい竹林の維持のための研究にも取り組み、竹林を観光・学び・遊びの場として活用する「開かれた竹林」を奈良県の明日香村にて造営中。竹林整備やアート制作、竹工芸、ものづくりワークショップも頻繁に行なっている。

地域の歴史自然資産を活用しながら「世界に国境はなく、人々はつながっていた」というメッセージをシルクロードの東端だった奈良から芸術芸能によって発信しようとする古典楽器と舞踊の楽団「土舞台 ユーラシアンサンブル」のプロデュースも行っている。